

FUJITSU

プライマジー

FUJITSU PRIMERGY CX1000 PCサーバ



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

データセンター/クラウドサービスに 最適なサーバプラットフォーム、 **PRIMERGY CX1000**

スケールアウトを必要とするデータセンターにおいて、
コスト削減と効率的な運用の実現をサポートします。

サーバコスト削減の必要性

クラウドサービスの拡大に伴い、データセンターにおける
サーバ台数は増加の一途を辿り、設置されるサーバ自体も
高度なテクノロジーの採用による高機能化が進んでいます。
こうした中、増大するサーバコストの削減が課題になっています。

データセンターの効率的な運用

データセンターの効率的な運用においては、
サーバコストの他にも、電力やスペース、
そして、万が一のトラブル対応を含めた
運用/管理コストを抑えることが必要です。

データセンターの課題に応えるCX1000

コスト削減、効率的な運用といった数々の課題を抱える
データセンターに最適なサーバプラットフォームが**CX1000**です。
CX1000は、サーバ装置のシンプル化や新しい冷却方式の採用、
ユーザビリティの向上により様々なデータセンターの
課題を解決します。

**PRIMERGY
CX1000**



※写真はLANスイッチ(オプション)搭載時

集中冷却方式と高効率電源による消費電力の削減

従来比 最大27%削減^{※1}

※1:RX200 S6×38台とCX1000×1台の比較

CX1000は集中冷却方式と高効率電源の採用により、大幅に消費電力を削減します。

■集中冷却方式

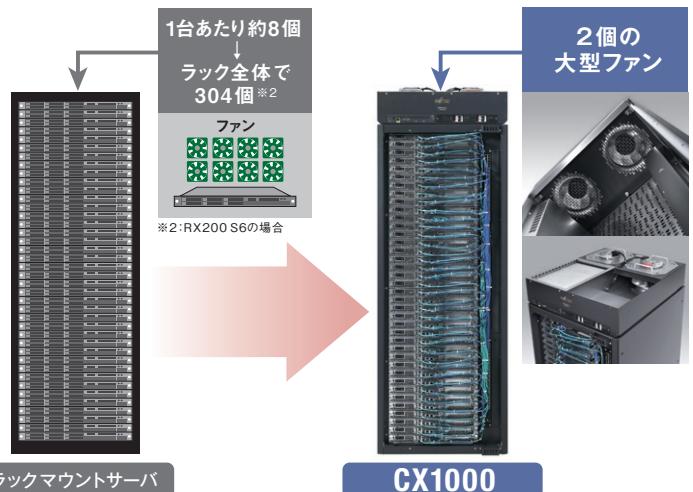
1Uのラックマウントサーバでは、サーバ1台あたり8個のファンが装備され、サーバ稼動時には高速で回転しています。

CX1000では、ラックマウントサーバのようにサーバノード毎にファンを装備せず、ラック上部に装備された2個の大型ファンにより、ラック全体を冷却します。

このようにファンを集約させた集中冷却方式により、ラック単位における消費電力を大幅に削減します。

■高効率電源

電源から供給される交流電源を、装置内部で直流電源に変換する際の変換効率が92%という高効率電源を採用し、従来の変換方式を採用したサーバよりも消費電力を削減します。

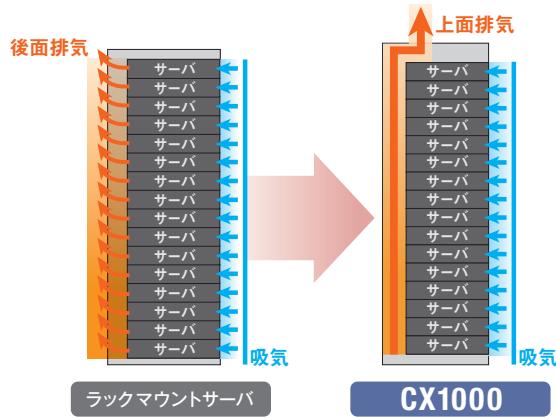


データセンタースペースの効率化 従来比 最大40%削減^{※3}

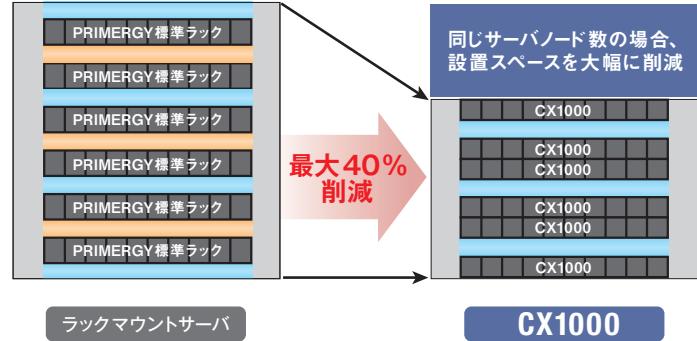
※3:同じサーバノード数を搭載したPRIMERGY標準ラックとCX1000を同数設置した場合の比較

CX1000の集中冷却方式で採用されている2個の大型ファンの排気方式は、ラックマウントサーバで採用されている前面吸気/後面排気とは異なり、前面吸気/上面排気となっています。この排気方式により、ラック後面同士を合わせた設置が可能となり、ラックマウントサーバでは必要だったラック後面のスペースを削減することができます。これにより、CX1000では、従来のラックマウントサーバと同じサーバノード数で比較した場合、設置スペースを最大40%削減することができ、大幅にデータセンタースペースの効率化を図ります。

排気方式の比較



設置スペースの比較



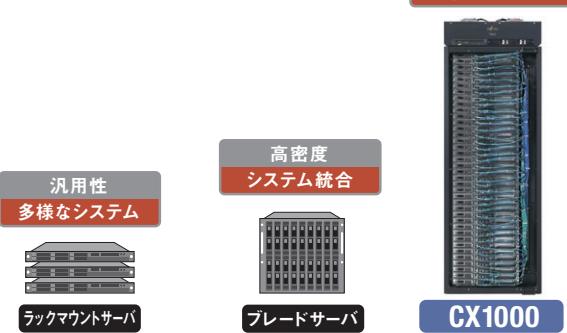
コスト削減を目指した装置仕様のシンプル化と統一化

CX1000は、専用の19インチラックおよび同一仕様で統一された38のサーバノードが一体となって提供されます。

CX1000のサーバノードにおいては、活性交換、冗長構成の対象となるコンポーネントの見直しによる部品数の削減等、装置のシンプル化によって、サーバノード単位で必要となる消費電力とスペースを削減しています。

また、部品数の削減や仕様の統一化は、管理工数/トラブル対応工数といった運用コストの低減にもつながると考えられます。このように、CX1000では、スケールアウトを必要とするデータセンターにおけるサーバコスト、運用コストの削減を目指し、装置仕様のシンプル化と統一化に取り組んでいます。

シンプル化
スケールアウト



ユーザビリティの向上

CX1000は、ラック前面で全ての作業が可能なフロントアクセス方式の採用やケーブル数の削減、サーバノードの軽量化等により、ユーザビリティの向上を図っています。こうした取り組みによって、運用/保守において必要となる作業をよりスムーズに実施することができます。

フロントドアおよび耐震キットをオプションで選択可能

CX1000は、ラックのフロントドアおよび耐震キットをオプションで選択可能です。フロントドアを搭載することにより、データセンター環境のセキュリティを向上させ、耐震キットを選択することにより、耐震性を高めることができます。

PRIMERGY CX1000

PRIMERGY CX1000仕様一覧

※本製品は、ラック部にサーバード部38台を搭載した状態で納品されます。ラック内のサーバード仕様は、下表より選択した構成で統一となります。

		PRIMERGY CX1000	
		PRIMERGY CX1000 S1	
ラック部			38
スロット	サーバード スイッチ	オプション(最大5台 1U×4(または2U×2), 1U×1)	
電源	入力電圧(周波数) 入力コンセント 数	単相/3相 AC200V(50/60Hz) 引掛型3Pロック(NEMA L6-20準拠) / 引掛型4Pロック(NEMA L15-20準拠) 6(単相) / 2(3相)	
外形寸法 [W×D×H (mm)]		700×850×2083	
サーバード部		PRIMERGY CX122 S1	
CPU (*1)	3次キャッシュメモリ プロセッサ数(コア数) メモリバス QuickPath Interconnect (QPI) Intel® Turbo Boost Technology Intel® Hyper-Threading Technology Intel® Virtualization Technology	インテル® Xeon® プロセッサー X5675/E5645/L5630/E5620/E5606 12MB(インテル® Xeon® プロセッサー X5675/E5645)/ 8MB(インテル® Xeon® プロセッサー L5630/E5620/E5606) 2(12コア)(インテル® Xeon® プロセッサー X5675/E5645)/ 2(8コア)(インテル® Xeon® プロセッサー L5630/E5620/E5606) 1333MHz(インテル® Xeon® プロセッサー X5675/E5645)/ 1066MHz(インテル® Xeon® プロセッサー L5630/E5620/E5606) 6.4GT/s(インテル® Xeon® プロセッサー X5675) 5.86GT/s(インテル® Xeon® プロセッサー E5645/L5630/E5620) 4.8GT/s(インテル® Xeon® プロセッサー E5606)	
メインメモリ	基本 最大	対応(インテル® Xeon® プロセッサー X5675/E5645/L5630/E5620) 対応(インテル® Xeon® プロセッサー X5675/E5645/L5630/E5620) 対応	
内蔵2.5インチベイ	搭載可能ユニット 拡張バススロット	24GB(4GB DDR3 1333 RDIMM×6)/48GB(8GB DDR3 1333 RDIMM×6) 72GB(4GB DDR3 1333 RDIMM×18)/144GB(8GB DDR3 1333 RDIMM×18)	
ディスクアレイ	ネットワークインターフェース(オンボード) インターフェース 消費電力/発熱量	2(ホットプラグ非対応) BC-SATA HDD:160GB(7.2k rpm)/500GB(7.2k rpm) オプション(1※Low Profile PCI Expressカード専用) 標準搭載(オンボード、RAID1機能付き) 2ポート(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T切替)、1ポート(管理専用) ディスプレイ(アナログRGB)、USB(Ver. 2.0)×2 最大350W/1,260kJ/h	
エネルギー消費効率(2011年度基準) (*2)	インテル® Xeon® プロセッサー L5630:0.65(AA)/E5620:0.62(AA)/E5606:0.70(AA)(J区分)		
外形寸法 [W×D×H (mm)]		483×454×42	
質量		最大6.5kg	
使用環境		周囲温度:10~35°C / 濡度:10~85% (ただし結露しないこと)	
質量 (*3)		最大468kg	
消費電力/発熱量		最大14,000W/50,400kJ/h	
標準保証		1年間翌営業日以降訪問修理(月曜~金曜、9:00~17:00(祝日および年末年始を除く))	

(*1) 出荷後に搭載CPUの種類を変更することはできません。

(*2) エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能(単位:ギガ演算)で除したものです。

(*) 内は省エネ法基準達成率であり、その表示値は達成率100%以上200%未満。AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。

尚、インテル® Xeon® プロセッサー X5675/E5645については、省エネ法の規制対象外です。

(*) ラック部および38のサーバード部の合計となります。(スイッチは含んでおりません。)

※オプションでフロントドアおよび耐震キットを選択可能です。

※サポートOSについては、弊社HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/cx/products/spec.html>)を参照ください。

●Intel、Xeonは、米国インテル社の登録商標または商標です。

●記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■弊社からお客様指定場所へ機器を納入する場合、別途配送料が必要となります。納入地が複数に分かれる場合は配送料が異なりますので、弊社営業または販売パートナーまでお問い合わせください。

■各種ドライバやBIOS、ファームウェア、添付ソフト等の最新モデルを以下のダウンロードサイトにて提供しております。システム安定稼働のため、常に最新モデルを適用して頂くことを推奨いたします。

尚、最新モデルのダウンロードおよび適用作業は、お客様自身で実施願います。(弊社作業をご依頼される場合は、有償にて承ります。弊社担当営業もしくは販売店までお問い合わせください)

<ダウンロードサイト> (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>)

*このカタログのハードディスク等の容量表記は1TB=1000GBで、1GB=1024Byte換算値です。1TB=1024Byte、1GB=1024Byte換算のものとは表記上同容量でも、実容量は少くなりますがご注意ください。

*周辺機器への接続については「PRIMERGYシステム構成図」等をご参照ください。

*本製品は日本国内仕様です。弊社では本製品に対する海外での保守サービスおよび技術サポートはおこなっておりません。

環境への取組み

「グリーン製品」の提供

当社の厳しい環境評価基準(省資源化、リサイクル設計、化学物質含有/使用規制、省エネルギー、環境情報の提供など)をクリアした地球に優しい、環境への負荷の少ない「グリーン製品」として提供しています。

富士通の環境についての取り組みの詳細は、富士通ホームページ「環境活動」をご覧ください。<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>



省エネルギー基準達成率

このカタログに記載したPRIMERGYは、省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)で2011年度までに達成しなければならない目標基準値を達成した製品です。



目標年度2011年度

マニュアルの電子化

自然保護、環境への配慮より、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ(PDF)で提供しています。



廃棄・譲渡の際のハードディスク内データ消去について

ご使用になっていたPRIMERGYを廃棄・譲渡する際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。詳細につきましては、「インターネット情報ページ」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/note/>)をご覧下さい。

●Support Desk紹介ページ「製品サポート」<http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/>

▲安全に関するご注意

ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

表示された正しい電源・電圧でお使いください。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン

0120-933-200

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

CG4484-3 2011年4月M